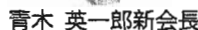
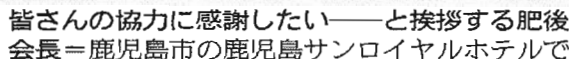


新会長に青木氏選出



鹿兒島市の鹿兒島サンロイヤルホテルで18年度通常総会を開き、安全管理体制の強化や九管連鹿兒島大会の実施などを柱とする新年度事業計画を決めるとともに、任期満了に伴う役員改選では新会長に青木英一郎氏（アイテック㈱）を選出した。

総会では、初めに肥後会長が「大変厳しい時代を迎えているが、ライフラインを支える仕事は無くなるわけではない。皆で知恵を出し合って、乗り切っていかなければなら



い」と挨拶するとともに勇退を表明。「長い間の皆さまのご協力に対し、厚くお礼申し上げる」と

述べた。
続いて、議長に永田豊人副会長を選出。議事では、17年度事業報告・収

支決算、18年度事業計画・収支予算案等を審議し、執行部原案通り可決承認。その中では、九管連鹿児島大会が7月28日に鹿児島市の城山観光ホテルで開かれることも報告された。

導事項伝達など。
 新役員、表彰者
 加入者は次の通り
【新役員】
 会長＝青木英一
 会長＝下田平洋一
 設備工業(株) 吉昌

法令指	新 規	工 業 株
準人(新架設備工業株)	▽監事 川村重春(川村法律事務所) 古江昭人(三和興業株) 上三垣和幸(有)上三垣水道建設	▽顧問 肥後勝司(中央工業株)
▽副		
(富士義博)		

生冷熱工業(株) 豊留誠
 (南海建設(株) 藤野幸祐
 (有)東京商事 田中哲郎
 (株)福水工業 立石貴文
 (九錦設備工業(株) 諸委
 浩一(アイワ工業(株)

【新規加入者】会員Ⅱ
 (有)永代建設 (有)せいすい

発、現場で働く人々の作業の大変さを知ってもらうことが目的。当日は土木事務所職員をはじめ、施工業者、冠岳小学校の全校児童16人、地元住民約20人らが参加した。

長が「砂防ダムは、土砂災害から尊い人命を守る役目をしています。きょうはダムの仕組みや作業の流れなど見てもらい、公共工事を身近に感じてください」などと挨拶した。

また、議事終了後は、優秀技能者（県知事）で山口敏彦氏（日新工業㈱）、優秀施工者（国土交通大臣）で上入佐博道氏（中央工業㈱）平瀬克司（御鵬工務店）を顕彰したほか、永年勤続優秀従業員で8人を表彰した。

(有吉屋興業) 竹
(有) 三和住設 高
(株) 南九州設備
理事 鮫島昭司
▽理事 鎌田満憲
開設備 尾上秀和
建設(株) 米山利雄
工業(株) 佐藤俊一
工設備 平井和弘

(株)三
南
協
常
務
會
議

(尾上)
(理水)
(株鹿)
(株平)

定行成
福美年
務務
務務

【表彰者】永年勤続表彰章
彰Ⅱ大山稔（旭工業(株)）
野元建造（日研高圧平和）
キドウ(株) 建山芳徳（新

伊集院土木、現場

工事ス々

見学会

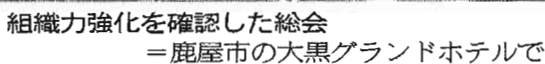
工業▽賛助会員▽荏原テクノノサーブ(株) 九州キヤタピラー三菱建機販売(株)

ールに感動

1986
同事務所や
施工業者の
担当者が工
事の事業概
要や進ちょ
く状況を説
明、児童ら
は熱心に耳
を傾けてい

奉仕活動実施盛る

鹿屋肝属電気設備協同組合（山形広ノ進理事長・(株)坂元電気工事）は6月29日、鹿屋市の大黒グランドホテルで18年度通常総会を開き、地元業者優先育成の陳情活動、組合員の団結と過当競争の



排除、労働災害防止安全パトロールや地域奉仕活動実施などを盛り込んだ新年度事業計画等を執行。部原案通り可決承認した。総会後に、内田康之大隅河川国道事務所電気通信課長と前野義春鹿屋市建設部長の講話もあった。

冒頭、山形理事長が「公共・民間とも厳しい現状ですが、今後も一層の組織力を強化し一致団結で頑張りましょう」と挨拶。

量の日記念講演会
 活用方法で知識新た
 県測量設計業協会

き意見交換会を開き親睦を深めた。

雄(有米徳設備)喜
(三州管工業株)

地区民らが施工中の砂防
えん堤などを見学、ふだ

もろろこと、公共事業の必要性や防災意識の啓

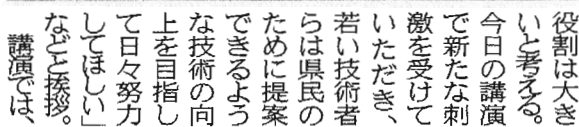
砂防工事の様子を見学
いちき串木野市の施工

する児童に感動していた。

I T活用方法で知識新た

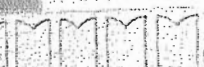
県測量設計業協会

県測量設計業協会（福田光一会長）は6月30日、



児島大学工学部海洋土木工学科の北村良介教授（工学博士）が「斜面防災・調査と予知」でそれぞれ講演を行った。

このうち、田中教頭はデジタルカメラによる浅海域の写真測量について、これまで研究を続けてきた内容や成果などについて解説。また、独自の着眼からWebを活用し、企業が所有する未使用のソフトウェアや機器などをレンタルする仕組みやGISを用いた防災情報等の使


 県建設業協会北薩支部
 ツク18年度前期会議が6



月23日、薩摩川内市のホテルグリーンヒルであり、各支部から提出された課題で意見交換した。同会議は出水・宮之城・大口・甑島・川内の5支部の持ち回りで年2回開催す

田代支部長は「この会議も30数年が経過、伝統ある会議なので今後も継続したい。公共事業が激減する中、品確法や総合評価方式が施行されているが、ふたを開けると低入札による落札がほとんどで、これではいい品物はつくれるはずがない。適性な競争を促進するた

工事スケールに感動

梶伊集院土木事務所
 (種子島時邦所長) は6
 月30日、いちぎ串木野市
 ん目にするのではない太
 掛かりな公共工事の様子
 を学んだ。

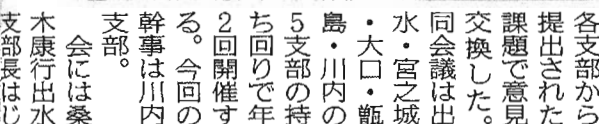
た。続いて
施工途中の
本堤工を見

適性な競争促進へ

適性な材

月23日、薩摩川内市のホテルグリーンヒルであり、

純浦勝志、鰐島支部長ら3
役と事務局長が出席、幹
事支部の川内からは全役
員と事務局が全員出席し
た。



田代支部長は「この会議も30数年が経過、伝統ある会議なので今後も継続したい。公共事業が激減する中、品確法や総合評価方式が施行されているが、ふたを開けると低入札による落札がほとんどで、これではいい品物はつくれるはずがない。適性な競争を促進するために皆さんのいい知恵をいただきたい」と挨拶。田代支部長を議長に5支部長が支部提出のテーマを説明、率直に話し合った。

